

# 令和 7 年度 sakura 保育園

## とうきょう すくわくプログラム 活動報告書④

園名	sakura 保育園
活動④	2026年3月13日
活動クラス	全クラス 0・1・2 歳児クラス
年間のテーマ	音

### 1. 活動のテーマ

〈テーマ〉 音

〈テーマの設定理由〉

・日頃から音に興味を持つ姿がみられるため、音に関する好奇心・探究心を更に伸ばしていきたいと思った。

### 2. ねらい

- ・子どもたちの「伸びる・育つ」と「好奇心・探究心」を応援する。
- ・子どもたちが自分で考え行動し、自ら答えを見つける力を養う。
- ・子どもたちが自分自身のアイデンティティを形成し他者との共生を学ぶ。
- ・実生活で役立つスキルを身に付けていく。

### 3. 活動スケジュール 〈3月〉

#### ① 3月13日 「スライドショー・演奏会」

- ・今までの活動写真をスライドショーで流し見ながら振り返る。
- ・製作した楽器を使って演奏しながら歌をうたって発表する。
- ・時には大人が声掛けをしながら、子どもの反応をよく観察し共感していく。
- ・遊びの中で子どもが音を感じて遊び、探求している姿を写真におさめる。
- ・昼礼・週案・月会議にて、子どもの遊びの様子や反応、気付きを共有する。
- ・活動内容の成果と評価を写真と共に記録に残していく。

## ② 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・プロジェクター、スクリーン、製作した楽器

## 4. 探求活動の実践 〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・スライドショーの写真を見ながら、作った楽器や遊んだ玩具の話をし楽しかった思い出を保育者と共有している。
- ・他児にも興味を示し次は誰が写真に写るかを楽しみにしている。
- ・自分で作った楽器に興味を示し、保育者の真似をしながら音を出して楽しんで参加していた。
- ・他児と楽器を見比べて中に入っている素材の違いに気づいたり、違う音がでることに興味を持っていた。
- ・スライドショーでは楽器製作やフルート演奏会のことを思い出している姿がみられた。
- ・自分や友だちが画面に映ると指をさして保育者に伝えていた。
- ・作ったタンバリンの写真を見ると両手をたたいてタンバリン演奏をしているような仕草をしていた。
- ・楽器を見せたとたん、自分で作ったものを欲しがっている。愛着を持って楽しんでいるようにみえた。
- ・タンバリンを始めは振っていたが、叩くよう伝えたと叩きながら音を鳴らしていた。
- ・音楽に合わせて音を鳴らすことも楽しんでいた。

### 【活動の様子】







## 5.振り返り

- ・BGM をきらきらほしにして、そのまま演奏に繋がったのがよかった。
- ・活動を振り返る良い機会だったが、0歳児はあまり理解していなかった。
- ・プロジェクターを活かして写真のスライドショーだけでなく、光などと音を連動してリズム遊びをすることも楽しそうだった。
- ・スライドショーは写真だけであったが動画を追加してもよい。
- ・きらきらほしのための演奏であったので、他の曲も演奏してみてもよいと感じた。
- ・作ったものを保育者が発表したけど、子どもが直接発表してもよい。